

パブリックコメントの結果について
(総務部契約管理課新庁舎整備室)

- 1 計画名称 敦賀市庁舎建設基本設計 (案)
- 2 募集期間 平成30年 9月14日 (金) から
10月 4日 (木) まで
- 3 募集方法 (1) ホームページから電子申請で提出
(2) プラザ萬象、各公民館に設置する意見回収箱へ提出
(3) 契約管理課新庁舎整備室へ提出
- 4 募集結果 同時期に開催しました市民説明会で頂いたご意見も含めて11名の方からご意見が寄せられました。
【内訳】
30代男性3名、30代女性1名、50代男性4名
60代男性1名、70代男性1名、80代男性1名

貴重なご意見をありがとうございました。
内容と対応は次頁のとおりです。

敦賀市庁舎建設基本設計（案）
パブリックコメントの内容と当市の考え方について

【「配置計画」について】

パブリックコメント	市の考え方
<p>コミュニティバスの乗降所を1ヶ所に集約する計画ですが、以下の点が不安に思われます。</p> <p>①集約による行き先の乗り間違えの発生があるのでは？</p> <p>②中央線、金山線、中郷・木崎線、山・公文名線の4線の市役所前のルートが変更になると思いますが、一般車両との接触が増えるのでは？</p>	<p>現庁舎で設置されているデジタルサイネージ（電子掲示板）を新庁舎にも設置し、コミュニティバスの発着情報を発信することや、乗車案内サインをわかりやすくすること、音声ガイドを用いることで乗り間違いを予防したいと考えています。バス乗降所の集約で市役所付近の運行ルートに変更が生じますので、敷地北西交差点に信号機を設置することで安全確保を図る考えです。</p>
<p>周辺道路の整備を十分考慮していただきたい。</p>	<p>バスターミナルの設置に関し北側道路との交差点への信号機の設置など、交通安全の確保が図られるよう関係機関と協議を行ってまいります。また、敷地西側道路の交通量増加が予測されますので、側溝を暗きょにする等、歩行者にもやさしい道路整備を図る考えです。</p>
<p>バスレーンは便利と思うが、ヨーロッパ軒の混雑時、信号機もないので危なそう。</p>	<p>バスターミナルの整備にあたっては、北側道路との交差点に信号機を設置できるよう関係各機関と協議を進めていく予定です。</p>

【「平面計画」について】

パブリックコメント	市の考え方
<p>市民交流ゾーンを充実させて欲しい。 （土日市民が集えるようにしてほしい）</p>	<p>多目的スペースについては、市民の利便性が高くなるよう設計を進めてまいります。また、今のところ、多目的スペースの土日開放を行う予定はありません。</p>
<p>カフェ等市民も昼食に使用できる魅力的なお店が入るとよい。</p>	<p>待合いの際に利用したり、市民活動スペースとしても利用可能な飲食スペースを2階に整備する予定です。</p>
<p>議会が見やすく、入りやすくなるとよい。</p>	<p>年齢や性別、身体的な状況の違い等に関係なく、すべての人が快適に利用できるようにユニバーサルデザインを考慮した議場スペースを整備する計画です。また、中央のエレベーターから最短で議場に入場できるよう、市民動線に配慮しています。</p>

<p>市民としては、多目的スペースが広く、使いやすくなるのはうれしいことですが、これまで1～4Fの各階にあった執務室（と呼ぶのですか？）が3Fの部分だけになるのは大丈夫なのでしょうか。以前ある課に行った際にはスペースがないからなのか、床に荷物等が積んであり、みっともないなと思いました。他、コート等がかかっていたりして、更衣室等はないのかと疑問に思いました。新庁舎では、きれいに整頓された、すっきりとした状態が保てる造りにしてほしいです。</p>	<p>職員の執務は1階の窓口スペース及び2階、3階の執務スペースで行います。平面計画の策定にあたってはオフィス環境調査を実施し、職員の働きやすさにも配慮した設計としております。なお、実施設計段階においても検討を加える予定です。</p>
---	---

【「立面・断面計画の方針」について】

パブリックコメント	市の考え方
<p>敦賀市の観光サポーターとして活動していますが、敦賀市も新幹線新駅が建設されますが、観光資源は乏しく、敦賀城を模した名物市庁舎を建設するなどして敦賀市の観光誘致に一役買うなど、新市庁舎としての観光推進施策が何かあれば教えていただけると幸いです。</p>	<p>新庁舎は消防庁舎と合築した防災強化型の複合庁舎として計画しており、観光誘致という目的は重視していませんが、新庁舎で整備するバスターミナルは2台同時発着が可能な仕様を想定しています。バスターミナルでバスを乗り継ぎ市内各地の観光に出かけるなどの、市内移動の円滑化に繋がる施策の展開は可能と考えています。</p> <p>また、多目的スペースにおいては、市内観光情報を広報するためのスペースの設置を想定しています。</p>

【「設備計画の方針」について】

パブリックコメント	市の考え方
<p>現 筈の川水系洪水ハザードマップでは、市庁舎近辺は0.5m程度の浸水が予測されていますが、市庁舎のかさ上げは検討されていないのでしょうか？</p>	<p>基本計画においてユニバーサルデザインを考慮して1階床を0.7m程度嵩上げすることを明記しており、基本設計においては1.0mの嵩上げを施す計画です。</p> <p>なお、南側平面駐車場からは階段を用いることなく庁舎に入れる計画です。</p>
<p>災害時に200人ほど収容する計画だそうですが、真夏や真冬の災害では冷暖房が必要になります。現計画では発電機で1/3程度まかなえるとの事。</p>	<p>災害時の一時的な緊急避難場所として、講堂の転用を想定しています。空調方式については、空冷ヒートポンプパッケージエアコン（EHP）による個別空調方式として発電機バックアップ回路に組み込み、中央熱源シス</p>

<p>仮にヒートポンプチラーユニットを1/3稼働したとして、避難所・各執務室他が空調できるとは考えられません。</p> <p>せめて半分でも吸収式冷凍機を使用すべきではないでしょうか。</p> <p>吸収式冷凍機は電力をほとんど使用しません。</p> <p>代わりに何でも構わないが熱源が必要です。(灯油、ガス、木質チップや80℃以上の温水、蒸気でも構いません)</p> <p>発電機の排熱利用できれば最高ですね(コージェネレーションシステム他)</p> <p>電力がダウンした時、吸収式冷凍機を使っていれば余った電力を他に回せます。</p> <p>避難者の体調を考慮すれば空調をおろそかにできません。</p> <p>何卒、ご再考をお願いいたします。</p>	<p>テムから切り離れた計画としています。</p> <p>ご指摘の「吸収冷凍機」については、採用を検討しました結果、①インフラとしての都市ガス供給を受けるためには多大な費用が掛かること。②LPガスについては、単価として割高でライフサイクルコスト上の採算性に欠けること。③灯油については、環境性、CO2排出量の面で劣ること。により、熱源の主燃料としての採用を見送りました。</p> <p>また、木質チップについてはチップ供給を受けられる供給網が敦賀市の最寄りに存在せず、チップ運搬を含めた単価が割高になることより、コストアップにつながると判断しています。</p> <p>コージェネレーションについては、上記都市ガス並びにLPガスのコスト採算性に欠けることから採用を見送っています。以上より、電力がダウンした場合の計画としましては、個別空調系統を発電機回路に組み込みバックアップ化を図ることで、災害時の一時的な緊急避難場所としての温熱環境を確保する計画としています。</p>
<p>既設庁舎の解体について</p> <p>地下やその下の水槽を、災害用の水槽に転用できないでしょうか。</p> <p>一定以上の建物では、災害防止用に貯水槽・貯水池(雨水調整用)を設けないといけません。</p> <p>新庁舎にも貯水槽の計画は有るでしょうが、貯水槽は多い方が良いでしょう。</p> <p>又、地下部の解体費用も安価になるのでしょうか。</p> <p>津波発生時は時間稼ぎにもなります。</p>	<p>排水インフラ途絶時等の対応として、7日分の排水を貯留する計画としています。</p> <p>解体工事費の縮減につながるひとつの考えとして、非常用発電装置の燃料タンクを置く場所として利用する等、実施設計の段階においてさらに検討します。</p>

【「機械・電気設備概要、事業スケジュール」について】

パブリックコメント	市の考え方
<p>仕事の関係上、1Fの多目的スペースや待合に設置されるデジタルサイネージの事が気になります。</p> <p>具体的な設備の計画を考える際には、事前に運営会社との連携もお願いしたいです。</p>	<p>新庁舎におけるデジタルサイネージ(モニターによる表示)の設置箇所や運営方法等は現在検討を進めている段階であり、具体化には至っておりません。詳細は実施設計の段階で決定する予定です。</p>

<p>これは、上記の事業のみならず、すべての案件で取り入れて頂けると企画がさらに活きると思います。</p> <p>これからの時代を考えると、ただ情報を発信していく「案内板」としてのデジタルサイネージからひとつ上のレベルのものを導入した方が良くと思います。</p>	
<p>国からの補助金のかねあいがあるということですので、工期にはゆとりをもって取り組んでほしい。</p>	<p>国の財政措置（市町村役場機能緊急保全事業債）は2021年（平成33年）3月までに庁舎の建設を終えることが条件となっておりますので、この期間内で庁舎本体が完成するよう事業スケジュールを着実に進めてまいります。また、建設工事期間が十分に確保できるよう、設計工程の進捗管理を徹底してまいります。</p>
<p>スペース上、仕方ありませんが工事期間における駐車場スペースが半分になる期間の代替駐車場の確保は検討しないのでしょうか？</p> <p>（仮に2019年10月～2022年3月の間で衆議院の解散総選挙となった場合、投票所として運用できますか？）</p>	<p>新庁舎建設工事期間中は立体駐車場を来庁者用として使用すると共に、現庁舎南側駐車場も来庁者用として使用する予定です。両方を来庁者用駐車場として使用することで、現状の145台と同程度の駐車台数を確保できるため、来庁者用の駐車場を別に確保することは検討しておりません。また、2019年に統一地方選挙や参議院議員選挙が予定されておりますが、現庁舎を引き続き選挙の投票所として使用する予定です。</p>

【その他ご意見】

パブリックコメント	市の考え方
<p>安全性より屋上へのヘリポートの設置は考えられないでしょうか？</p> <p>建屋屋上に救命ヘリの発着場を作る。（水没時）小浜市内場所遠敷地区にあるも平地ゆえ水没時使用不可。予算は国会議員、市議会、市長等が震災視察しヘリの救助を強く必要性を感じているはず。庁舎自体は何ら不都合はなく、事務処理が出来ればよい。</p>	<p>新庁舎敷地内にドクターヘリの発着場を整備することについては、基本計画の策定段階で十分な検討を行い、設置が不可能であるという結論に至っております。なお、福井県からは市内小中学校等のグラウンドにおいてドクターヘリを運用する旨うかがっております。</p> <p>新庁舎の屋上に（ドクター）ヘリの発着場を設ける案については、ヘリ自体の重さや揺れを考慮した建物設計が必要となり、建設費の高額化が避けられない見込みです。屋上発着場もさることながら、屋上と1階を結ぶエレベーターなどもドクターヘリに搭載されて</p>

	<p>いる機材やストレッチャーの運搬を考慮する必要が生じ、これ以上の事業費の高額化を見送ったという経緯があります。また、平面駐車場に発着場を並存する案は、事業費の面からは追加費用が少ないのですが、近隣道路への下降時の風の影響を緩和するため敷地内3.5m四方の地面を1.0m高くする必要が生じ、これでは駐車場との併用は難しいと判断した次第です。</p>
<p>建設費の高騰の問題もある中で、総事業費の予算内で抑えるようお願いしたい。 場合によっては、予算内におさまらないケースもあると思うので無理のない範囲で実施設計に入ってもらい、柔軟なプランニングをお願いしたい。</p>	<p>新庁舎の事業費については、実施設計段階でも精査を行い、縮減に努めます。</p>
<p>市の公共事業という性質上、市内業者で市で生産されたモノを積極的に使ってほしい。 すこしちがうかもしれませんが、工事にあたり敦賀市業者が下請作業にて出来る様に配慮願います。</p>	<p>工事については地元業者優先で発注する方針です。また、資材の購入及び下請負については、元請業者に対してできる限り、地元業者を選定いただくよう配慮をお願いしてまいります。</p>
<p>防災、特に水没時には立体駐車場の使用を可能とする。</p>	<p>立体駐車場は新庁舎建設工事期間中は来庁者利用を予定していることから、新庁舎建設工事期間中に災害が発生した時には一時的な避難場所になりえます。しかし、現庁舎は指定避難所ではなく、新庁舎も指定避難所とする予定はありませんので、災害が落ち着いたら指定避難所に移っていただくことになります。</p>